

## 令和元年度 12 月 「学校評価アンケート」 の分析 「公表資料」

12 月に実施した「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。本校が掲げている 4 つの「めざす生徒像」を実現させるための、具体的な取組についての結果と分析をお知らせいたします。

学校教育目標「豊かな心と向上心にあふれる生徒の育成」の達成に向けて

「めざす生徒像」づくり

【1. 自ら進んで学習する生徒】

・「見通し・ふり返る」で学習への意欲を感じている生徒

【2. 互いの良さを認め高め合う生徒】

・互いの良いところを見つけ伝え合うことのできる生徒

【3. 心と体を鍛える生徒】

・自律清掃で、自分の心を磨いている生徒

【4. ふるさとに誇りを持つ生徒】

・地域に誇りを持つ生徒



【1. 自ら進んで学習する生徒】

(質問5)「授業で学習内容の見通しを持ったり、ふり返ったりすることができる」

「よくあてはまる」41%、「あてはまる」52% 合計93% (生徒)

(質問6)「授業では自ら進んで課題に取り組んでいる」

「よくあてはまる」37%、「あてはまる」56% 合計93% (生徒)

授業での「見通し・ふり返り」については7月の94%より1%の減少が見られますが、その内訳を見ると「よくあてはまる」と回答している生徒が37%から41%とやや上昇しています。また、「授業では自ら進んで課題に取り組んでいる」については7月の90%より3%上昇しています。生徒自身が学習内容の見通しを持って授業に臨んだりふり返ったりすることができ、自ら進んで課題に取り組んでいけるようこれまで以上に有意義で深い学びのある授業づくりに取り組んでいきます。

(質問9)「学んだことをふり返ったり(復習)次の授業を見通した勉強(予習)を家で勉強している」

「よくあてはまる」38%、「あてはまる」41% 合計79% (生徒)

家庭学習については、7月の85%と比較すると79%と6%の減少となりました。アンケート項目の「学んだことをふり返ったり、次の授業を見通した」勉強を自分で行うことが、様々な課題解決に必要な力であり、学びに向かう人間力につながるものと考えられます。今後も「ガリガリノート」(自主学習ノート)の終了冊数に応じて段位認定し、励まし誉める機会を持っていきます。また、学習内容の充実のために、学級担任だけでなく教科担任からも家庭学習の充実につながるような学習方法を示していきます。

## 【2. 互いの良さを認め高め合う生徒】

(質問11)「友達の良い行いや長所を見つけることができる」

「よくあてはまる」51%、「あてはまる」45% 合計96% (生徒)

(質問12)「友達に対して、思いやりの心で行動している」

「よくあてはまる」44%、「あてはまる」49% 合計93% (生徒), 96% (保護者)

生徒同士が良いところを見つけて名前やその行為を書く「とりごえもんの羽」が定着してきており、他の人の良い行いを見つけようとする生徒の意識が高くなっていることがうかがえます。しかしながらすべての生徒が名前を書かれているわけではありません。今後は定期的にテーマを変えて生徒の積極的な行動を促し、各学級でも一人一人の良いところを書き合うなど、自尊感情を育むとともに他者への思いやりが自然と生まれるような場面を設けていく取組をしていきます。

## 【3. 心と体を鍛える生徒】

(質問15)「自律清掃(無言, 見つけ)を通し, 自分の心を磨いていると感じる」

「よくあてはまる」42%、「あてはまる」52% 合計94% (生徒)

「よくあてはまる」生徒は7月の41%から42%とわずかですが増加しています。「あてはまる」と合わせると94%と、自律清掃の取組に対する意識の高さがうかがえる数値となっています。清掃の始めには一斉に大きな声であいさつし、清掃時には自分の心と向き合いながら隅々まで丁寧に清掃するよう指導していきます。また、生徒会でゴミ拾い等の取組を行い気付く力を促し、掃除の質を高めることにつなげていきます。

## 【4. ふるさとに誇りを持つ生徒】

(質問16)「地域に愛着や誇りを持っている」

「よくあてはまる」35%、「あてはまる」48% 合計83% (生徒)

(質問13)「子どもは, 地域に愛着や誇りを持っている」

「よくあてはまる」24%、「あてはまる」58% 合計82% (保護者)

「よくあてはまる」「あてはまる」と回答している生徒が7月の92%から9%減少しています。昨年度と比較しても生徒、保護者ともに10%減少した結果となりました。今年度も運動会でのじょうかべ踊りの指導、地域に伝わる紙芝居の披露など、多くの方に学校教育への協力を得ることができました。地元の方と直接交流する機会を持つことは、ふるさとへの愛着や誇りを実感することに結びつくと思います。今後も学校の取組を校内掲示や学校だよりで紹介したり、地域人材・資源を活用する活動を授業や学校の行事に積極的に取り入れ、生徒自身が活動をふり返る機会を持つことで、鳥越中学校らしさの一つである愛郷心を育んでいきます。